学校法人
追手門学院

2016年1月発行

成熟社会研究所 Newsletter 活動報告

Center for Mature Society Research

創　刊　号

記事一覧：

- 学生参加が増加中～シエアラボ1期、2期を終えて

プロジェクト紹介01：
- 若者のための学校～（仮称）サバイバルカレッジ「知恵の環」開講準備中！
- 上町台地を歩いて語る～オープン台地に参加しました

プロジェクト紹介02：
- 「信頼の現場」研究プロジェクト始動！～プレ研究会を開催しました
- 地元団体との地域連携を進めています！
- 発刊ごあいさつ

記録冊子「シエアラボれぽーと」

表紙写真「シエアラボ第2期 vol.1 からだをととのえる」（2015.9.17 開催）
～学生によるグループワーク発表の様子

社会とともに、学び、成長する

学生参加が増加中　～「シェアラボ」１期、２期を終えて

「シェアラボ」は成熟社会研究所が主催する参加型研究会です。学び・対話し・分かち合うことをコンセプトとし、学内外から多彩なゲストを迎え、参加者全員で**世代や専門を越えた学び合いとなる意見交換**を行っています。大学だけでなく外部での出張開催もあり、参加者は教職員・学生・一般と幅広く、茨木シニアカレッジや茨木市議会議員の方も参加していただいています。また、**学生やリピーターの参加は回を重ねるごとに増えて**います。ある学生の感想には「本からだけでなく人から学ばなければ」とあり、異世代交流や対話を通して、彼らの視野は着実に広がっているようです。

各回のとりまとめはレポート冊子（表紙写真）として発行。2016 年度も引き続き開催を計画中です。

◆シェアラボ 第１期　※参加者（　）内　学＝学生、外＝外部一般の人数

Vol.1　「うごく」（2014.7.3.木）	**ゲスト：京都大学・土井勉氏、追手門学院大学・安村克己氏** 参加者 15 名（学１・外１）公共交通や観光を切り口にしたゲスト講演と「若者と車と旅」をテーマにグループ討論を行った。
Vol.2　「まなぶ」（2014.10.9.木）	**ゲスト：富山インターネット市民塾・柵富雄氏、追手門学院大学・今堀洋子氏** 参加者 20 名（学３・外３）「大学生の学び・社会の学び」と題したグループ討論と、新しい学びの現場についてのゲスト講演を実施。（写真）
Vol.3　「あきなう」（2014.12.4.木）	**ゲスト：承継コンサルタント・奥村聡氏、追手門学院大学・神吉直人氏** 参加者 19 名（学５・外２）グループ討論のテーマは「もしも会社をつくるなら」。ゲスト講演は初めての対談形式で「事業承継」についてカジュアルな視点から紹介。学生から活発な意見が飛び出した。
Vol.4　「すまう」（2015.2.25.水）	**ゲスト：くらしの今昔館・谷直樹氏、大阪ガスＣＥＬ・加茂みどり氏** 参加者 31 名（学９・外 11）くらしの今昔館見学ツアーの後、豊崎長屋を借りて「昔とこれからの住まい・暮らし」についてのゲスト講演。
Vol.5　「つたえる」（2015.6.18.木）	**ゲスト：「地方の時代」映像祭プロデューサー・市村元氏** 参加者 27 名（学 11・外７）東日本大震災ドキュメント映像『千年後にとどけ　私たちの願い』上映とのセット企画。「地域からつたえること」についてグループ討論し、各グループの学生参加者が発表。

◆シェアラボ 第２期（ととのえるシリーズ/対談形式で実施）

Vol.1「からだをととのえる」（2015.9.17.木）	**ゲスト：神戸親和女子大学・平尾剛氏、追手門学院大学・神吉直人氏** 参加者 40 名（学 11・外 11）元ラグビー代表のゲストに一般・学生も多数参加。トークテーマは「からだの声を聞いてみよう」。
Vol.2「くらしをととのえる」（2015.10.22.木）	**ゲスト：モモの家スタッフのみなさん、追手門学院大学・今堀洋子氏** 参加者 21 名（学０・外 13）吹田市のコミュニティスペース「モモの家」にて、糸つむぎや七味づくり等の手仕事体験＋お茶会と談話夜会を開催し、運営スタッフの方々からお話を伺った。
Vol.3「きもちをととのえる」（2015.11.26.木）	**ゲスト：追手門学院大学・金政祐司氏、神吉直人氏** 参加者 37 名（学 23・外２）ゲスト対談では「恋愛指南・恋愛至難」をテーマに、恋愛の悩みを紹介しながら心理学による解説を展開。

プロジェクト紹介 01

若者による、若者の、若者が生き残るための学校
～（仮称）サバイバルカレッジ「知恵の環」開講準備中！～

若者たちがこれからを生き抜く力を身につけるためにできることはないのか？

そうした問いから始まったこの **サバイバルカレッジ「知恵の環」**プロジェクトでは、**若者自身が企業や団体と連携・協働しながら、自分たちに必要な力を養うための新しい若者向けプログラムを創造**します。

現在、成熟社会研究所内の設立準備チームには追手門学院大学生も参加し、「食」や「情報」などをテーマに、下記のような企業や他大学との企画・調整を進め始めているところです。打合せや視察に参加した学生メンバー達は、企業の専門知識や企画に大いに刺激を受けてプログラム開発に取り組んでいます。また、立命館大学との協働プログラムも計画中です。

■企業等へのヒアリング・視察

2015.3　大阪ガス・ハグミュージアムにてエコクッキングを視察
2015.7　大阪ガスの取り組みについてヒアリング
2015.7　日本経済研究センターの取り組みについてヒアリング
2015.7　立命館大学でのプレゼン、意見交換
2015.9　大阪ガスとカルビーと共催の防災クッキング教室を視察（学生メンバー参加）
2015.11　日本経済研究センターとの打合せ（学生メンバー参加）

学生メンバーを交えてのミーティングを行っています！

★学生メンバーからのコメント★

▼学生のうちに企業の方々とかかわった取り組みに参加出来ることは貴重な財産となります。そこで「人間力」を高められそうなことも「知恵の環」の魅力の一つです。「自分史上 想像以上」がここにあるのではないかと考えています。**【古田 向さん/経営学部２回生】**

▼経済分野担当です。生きていくために必要な知識として経済に関することは欠かせないものだと思います。日本経済研究センター様のご協力をいただき、学生たちが主体となって学習していく環境をつくります。**【平本 玲香さん/経営学部２回生】**

上町台地を歩いて語る～オープン台地に参加しました

去る 12 月 2 日（水）、成熟社会研究所は**「オープン台地 in OSAKA vol.6」**に参加しました。オープン台地は上町台地の建物や空間を使った「まちびらきプログラム」を 10 日間（11/27～12/6）に渡って行うというもので、追手門学院協賛のイベントです。

研究所では、**「下町文化と暮らしについてのんびり話そう」**と題して、まち歩きとトークサロンを実施。上町台地の中で下町感を色濃く残す「空堀」地区を歩くミニツアー（写真）の後、ちんどん通信社・東西屋の事務所をお借りして、ゲストに空堀地区在住の街角企画株式会社の山本和代さんをお招きし、下町で暮らしについて参加者を交えて語り合いました。

参加者の方々からは「知らなかった空堀の姿を発見できてよかった」等の感想をいただきました。今後も機会があれば、このような外部プログラムに参加していきます。

プロジェクト紹介 02

「信頼の現場」研究プロジェクト始動！～プレ研究会を開催しました～

去る 11 月 6 日（金）、追手門学院大阪梅田サテライトにおいて、成熟社会研究所が主催する**「信頼の現場」プロジェクト・プレ研究会**を開催いたしました。

このプロジェクトは「信頼による結びつきにはこれからの社会を変えていく力になる可能性がある」という考えのもと、研究者・企業・教育者など様々な分野のメンバーが集まり、「信頼」に対する学術的アプローチを共有する**基盤研究**と、個別の現場についての研究を行う**分野別ユニット研究**を行うものです。プレ研究会当日は、武庫川女子大学、りそな銀行、ＪＲ西日本など大学、企業、団体から 16 名が集まり、村上亨先生による話題提供「信頼と制度について」を伺った後、「信頼」というキーワードに関する各自の分野や現場での事例等について意見交換を行いました。参加者からは**「信頼はコミュニティ再構築の鍵になる」「いろいろな分野から情報や考えを持寄って進めていければ面白いものになるのでは」「現場で感じることを大切に」**といった意見・感想が出されました。

今後、ユニット研究による成果は、メディアによる発信や公開型報告会などの形で、広く社会に提示していきます。**「信頼」研究に関心のある方の参加も歓迎いたします！**

地元団体との地域連携を進めています！

シェアラボリピーターの地元団体に**「茨木シニアカレッジ」**があります。シニアカレッジでは、シニア世代のこれからの暮らしに役立つタブレット利用の検討についてアンケート調査を実施することとなり、調査票作成や分析に関して成熟社会研究所がアドバイスして協力しています。

シニアカレッジと研究所は研究協力者として**連携**し、地域に役立つ研究を進めていきます！

＊ご あ い さ つ＊

このたび成熟社会研究所（所長：佐藤友美子/地域創造学部教授）の活動内容や研究についてお知らせするニュースレターを発行することとなりました。

当研究所では、社会が成長の時代を経て成熟へと向かう今、**「多様な価値観を認め、選択肢を自ら選び取る」「誰もがかけがえのない人として成長できる」社会の実現**のために、**自立して生きる力を備えた『志』のある個人を育てる**ことが必要と考え、若者の自立と成長、そして若者とともに成熟する社会を切り口とした、調査・研究・提言を行っていきます。多様な人、多様な分野と双方向につながり、社会に開かれた研究所を目指します。

紙面では、進行中の研究プロジェクトなどを随時ご紹介してまいります。

発行：**追手門学院 成熟社会研究所** Center for Mature Society Research
540-0008 大阪市中央区大手前 1-3-20
追手門学院　大阪城スクエア内
TEL:06-6948-5835　FAX:06-6948-5836
seijuku@otemon.ac.jp
https://www.facebook.com/otemon.seijuku

■研究所メンバー■
所長：佐藤友美子（追手門学院大学 地域創造学部教授）
副所長：神吉直人（追手門学院大学 経営学部准教授）
所　員：村上　亨（追手門学院大学基盤教育機構教授）
神谷聡子、中川啓子（編集担当）